

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2009-139654(P2009-139654A)

【公開日】平成21年6月25日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2007-316184(P2007-316184)

【国際特許分類】

G 0 2 B 21/24 (2006.01)

G 0 2 B 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/24

G 0 2 B 7/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

標本または光学部品を固定した可動体を駆動して位置決め状態に停止させる駆動機構と、
該駆動機構による可動体の停止時に発生する振動を減衰する振動減衰機構とを備え、
該振動減衰機構が、所定の質量を有する慣性部材と、該慣性部材と前記可動体との間に挟
まれる粘弾性部材とを備え、
該粘弾性部材の複数方向の寸法が、前記可動体の停止時に発生する複数方向の振動の共振
周波数に基づいて設定されている顕微鏡システム。

【請求項 2】

ベース部材を備え、
前記駆動機構が、前記ベース部材に対して前記可動体を駆動させ、
前記ベース部材に、他の振動減衰機構が備えられている請求項 1 に記載の顕微鏡システム
。

【請求項 3】

前記可動体が前記標本を搭載するステージであり、
前記振動減衰機構が、前記ステージの下面ほぼ中央に設置され、該ステージの移動方向の
振動および該ステージの移動方向に直交する方向の振動を減衰させる請求項 1 に記載の顕
微鏡システム。

【請求項 4】

前記可動体が、光を変調する複数のフィルタを搭載した円板状のフィルタターレットであ
り、
前記振動減衰機構が、前記フィルタターレットの外周面に設置され、該フィルタターレ
ットの回転方向の振動および該フィルタターレットの厚さ方向の振動を減衰させる請求項 1
に記載の顕微鏡システム。

【請求項 5】

前記可動体が、レンズ、プリズムまたはミラーを直線移動可能に支持するスライダであり
、
前記振動減衰機構が、前記スライダの側面に設置され、該スライダの移動方向の振動およ

び該スライダの移動方向に直交する方向の振動を減衰させる請求項 1 に記載の顕微鏡システム。

【請求項 6】

前記可動体が、対物レンズを光軸方向に直線移動可能に支持するスライダであり、前記振動減衰機構が、前記スライダの側面に配置され、該スライダの移動方向の振動および該スライダの移動方向に直交する方向の振動を減衰させる請求項 1 に記載の顕微鏡システム。

【請求項 7】

前記慣性部材が、前記粘弾性部材に対してその重心位置を移動可能に構成されている請求項 1 に記載の顕微鏡システム。

【請求項 8】

標本または光学部品を固定した可動体を駆動して位置決め状態に停止させる駆動機構と、
該駆動機構による可動体の停止時に発生する振動を減衰する振動減衰機構と、
該振動減衰機構が、所定の質量を有する慣性部材と、該慣性部材と前記可動体との間に挟
まれる粘弾性部材とを備え、
該粘弾性部材の複数方向の寸法が、前記可動体の停止時に発生する複数方向の振動の共振
周波数に基づいて設定され、
前記可動体の停止時に発生する複数方向の振動を前記慣性部材が全ての振動方向に変位す
ることによって全ての方向の振動を減衰させる顕微鏡システム。